

# 森 り よ う じ

森  
が  
動  
く。



副議長

流山市議会議員

討議資料

清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

昨年12月の定例会では議案29件を審査しました。また一般質問は正副議長（私自身）を除いた全ての議員が登場しました。なお定例会報告は2月折込みの市議会だよりをご覧ください！

## 平成31年1-3月号 森りょうじ リポート。(95号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

### ■森が動く。～4年間の足あと～

新年を迎え、今年5月の任期満了を意識する時期となりました。平成27年の選挙で3回目の議席をお預かりし、“市民福祉の向上や良質なまちづくりに繋げる視点”をもって議会活動や議員活動（市民相談・地域要望の対応）を行ってきました。自負もあれば課題もあります。自らの4年間の足あとを辿ってみたいと思います。（裏面）



### ■有事における議員の責務。

1年半に亘る議論を経て市議会改革の一つ『災害時の対応マニュアル』を無事に完成することが出来ました。市民の皆様が直接影響する部分は限られていますが、災害発生という緊急事態となった際に、我々議員は『議会組織の一員としての自覚をもった災害対応』を心掛け行動して参ります。※内容は市議会HPでご覧頂けます。

### ■陳情・市民相談に応じています。※一部抜粋

- ①公園改修（北1号公園フェンス・江戸川台東7号公園）
- ②安全対策（ゾーン30導入の支援、道路標示の再塗装）

### ■ご案内（森から皆さまへ）

- ①次回の駅活動は平成31年3月～を予定しています。
- ②ポスティング協力をして下さる方を大募集中！
- ③平成31年第1回定例会は2/14-3/15（予定）です。

○1976年6月12日流山生まれ（42歳） ○家族：妻

※サラリーマン家庭（父はNTTに勤務）で育つ

流山市立新川小、流山市立北部中卒業

日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社（管理部ほか）

○2003年4月 流山市議会議員に初当選（2,692票）

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選（4,508票）

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選（5,830票）

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所：流山市中野久木559-2

討議資料

## 森が動く。①

【平成 27 年度の足あと】

市議会内会派・流政会の代表に就任しました。会派組織は会社組織のように厳格な規則などはありませんが、一緒に会派を組むことになったメンバーの多くが1期目(5人)であったことから、自らの経験を踏まえて“人材育成に重点”をおきました。私自身も議会組織や諸先輩によって育てて頂いたことが基本にあります。

地方分権の流れの中、議員の在り方も常に変化をしています。市民や地域をサポートするという視点のみならず政策立案力、行政の監視力向上も大きなテーマです。また専門性を高めるために大学教授を招き都市計画を研究するなど調査力の向上に務めました。



## 森が動く。②

【平成 28 年度の足あと】

“安全安心な街づくり”がテーマの年でした。まず、同世代の友人達と消防団に入団し地域の安心まちづくりに自らも参画しました。議会組織にいと制度論などに固執してしまいがちですが、現場に身を置くことで実態を学び、新たに気付かされる課題もありました。例えば当市の消防団は定員 355 名でありながらも 300 名程しか確保が出来ていません。今後は、制度と現場の二つの視点を持って持続可能な制度づくりを目指したいと思えます。



同時に地域社会の安全安心の要とされる「自治会を中心とした自主防災組織の調査」にも力を入れました。意見交換会を行い、課題の整理をお手伝いする中で、自治会の防災道具置き場確保が課題との声があり、議会でも取り上げた結果、公園に防災倉庫の設置が可能となりました。

WebSite「森りょうじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

## 森が動く。③

【平成 29 年度の足あと】

5月の臨時会で第28代の副議長職を拝命しました。そこで同職を通じて見た議会や行政組織は、今までとは違うものがありました。

それは組織マネジメントという点です。議会と行政の関係は二元代表制とされ(両組織はチェック&バランスの関係にある)、その関係性が自治体運営に大きく影響してきます。その中で強く意識したことは『コミュニケーションの重要性』です。議会内におけるコミュニケーションはもとより、行政側とも緊張関係・信頼関係に基づくコミュニケーションが必要と言う点でした。議会の最大の役割は「市の意思決定」を行うことです。その際、国会運営などでも求められることですが、対立構図ばかりでは何も決まりませんので、互いの立場や役割を理解し、意見を交わすことで合意点(一致)を見出すことも“リーダーの資質”だと感じました。

## 森が動く。④

【平成 30 年度の足あと】

副議長職の一つに、様々な会合や地域に呼ばれて挨拶や懇談をする機会があります。そのような機会を通じて、皆様とまちづくりや流山市の可能性についての意見交換を行いました。

例えば近隣市の正副議長の方々との交流がありますが、一部近隣市では人口が伸び悩む(または減少)時期を迎えています。

一方、当市は人口急増時代を迎えている中で



のまちづくりであり、地域間格差や局所的な人口急増に関する課題と対応を、すでに経験してきた他の自治体から学びました。

政策を考える際には、大所高所から視点が重要だと感じており、このような情報網を築けたのは、役職ならではのものと感じています。

【連絡先】 TEL & FAX: 7155-3236  
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp